



奈良県経済の概況

緩やかに持ち直している

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比
2 か月ぶりの増加

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比
4 か月連続の減少

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比
2 か月連続の減少

雇用情勢 有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント
低下の 1.15 倍

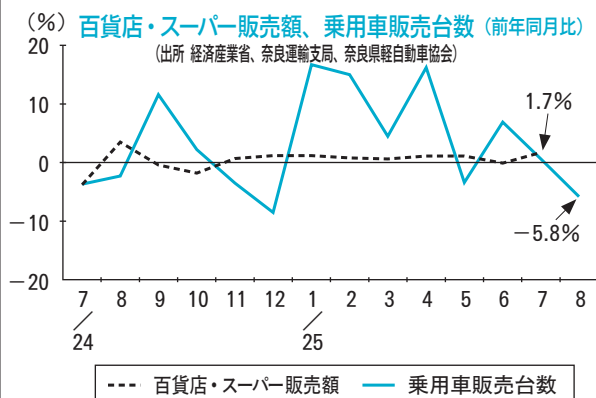
企業倒産 倒産件数は 12 件
負債総額は 3 億 5 百万円

生産活動 鉱工業生産指数は前月比
2 か月連続の上昇

1

個人消費

百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2 か月ぶりの増加

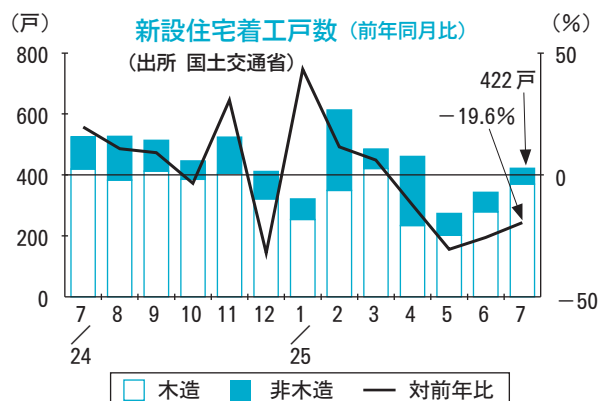


- 7月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比 1.7% 増の 176 億 48 百万円となり、2 か月ぶりの増加。
- 8月の乗用車販売台数は前年同月比 5.8% 減の 2,675 台と、3 か月ぶりの減少。普通乗用車は同 9.6% 減、小型乗用車は同 19.6% 減。軽乗用車は同 7.3% 増となった。

2

住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 4 か月連続の減少

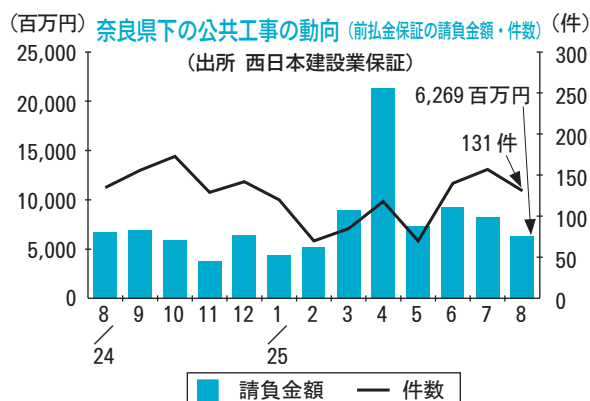


- 7月の新設住宅着工戸数は前年同月比 19.6% 減の 422 戸と、4 か月連続の減少。
- 利用関係別にみると、持家は同 19.8% 減の 190 戸と 4 か月連続の減少、貸家は同 17.4% 減の 119 戸と 2 か月ぶりの減少、分譲住宅は同 20.4% 減の 113 戸と 3 か月連続の減少となった。

3

公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比 2 か月連続の減少

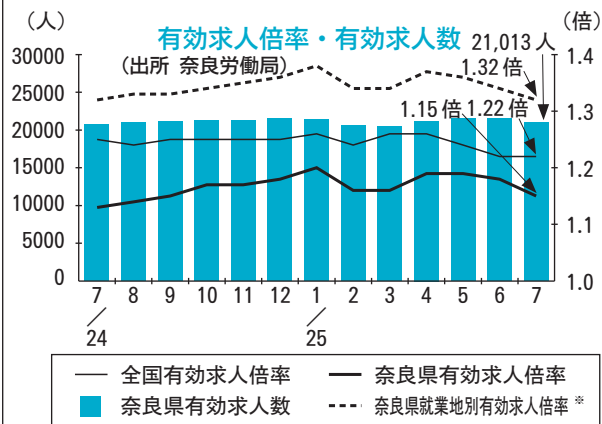


- 8月の公共工事請負金額の動向をみると、件数は前年同月比 3.0% 減の 131 件となり、2 か月連続の減少。金額は同 6.6% 減の 62 億 69 百万円と、2 か月連続の減少。
- 発注者別にみると、国は同 74.2% 減、県は同 52.2% 増、市町村は同 6.4% 増。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント低下の 1.15 倍



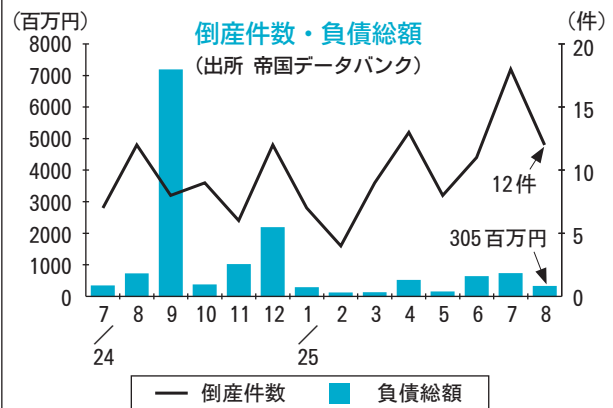
※実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

- 7月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.03 ポイント低下の 1.15 倍となり 2 か月連続の低下。前年同月比は 0.02 ポイント上昇。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.04 ポイント低下の 1.92 倍となり 3 か月連続の低下。前年同月比は 0.03 ポイント低下。

5

企業倒産

倒産件数は 12 件、負債総額は 3 億 5 百万円



- 8月の倒産状況をみると、件数は前年同月と同じ 12 件。負債総額は同 56.9% 減の 3 億 5 百万円と 2 か月ぶりの減少。
- 業種別では、小売業が 5 件、建設業、サービス業が各 2 件、製造業、運輸・通信業、その他が各 1 件。倒産形態では、12 件すべてが破産であった。

6

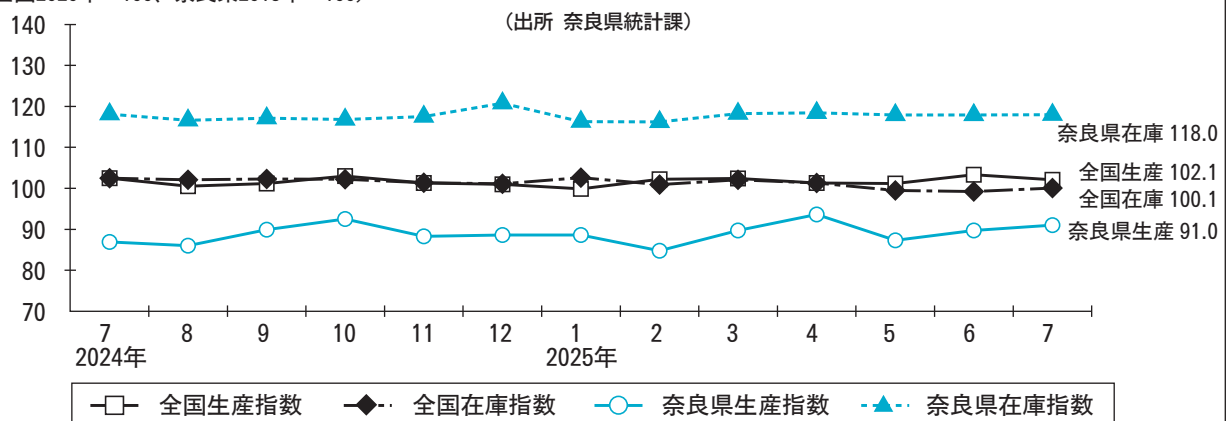
生産活動

鉱工業生産指数は前月比 2 か月連続の上昇

(全国2020年=100、奈良県2015年=100)

鉱工業生産指数

(出所 奈良県統計課)



- 7月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 1.4% 上昇の 91.0 となり 2 か月連続の上昇。原指数は前年同月比 4.7% 上昇の 95.3 となり 2 か月連続の上昇。在庫指数は前月比 0.1% 上昇の 118.0 となり 3 か月ぶりの上昇。

- 業種別生産指数の動きは、生産用機械工業、金属製品工業、食料品・たばこ工業等の 12 業種が前月比上昇となる一方、電気機械工業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業等の 5 業種が同低下。